

スギラン ヒカゲノカズラ科
Huperzia cryptomerina (Maxim.) Dixit

鳥取県：絶滅危惧I類 (CR+EN)

環境省：絶滅危惧II類 (VU)



若桜町 2010.10.12/撮影：坂田成孝

■**選定理由**：着生に適した自然林内の落葉広葉樹の古木減少，生育環境悪化のために，自生地および個体数の減少が顕著。

■**特徴**：ブナ帯域のブナ，ミズナラ，トチノキなどの古木に着生する常緑性シダ植物。外見はスギ苗に似る。茎は分岐して斜上，胞子がつくようになると下垂する。葉は狭披針形，長さ1-2 cm，中央部が最も広い。氷ノ山ではミズナラ，トチノキ枯死のため着生木周辺が乾燥し，消滅した。若桜町広留では近年，ナラ枯れによりミズナラが多数枯死し，着生のスギラン，シノブ，ホテイシダ，ミヤマノキシノブなどが減少。2010年，当地では1本のトチノキに6株のスギラン着生が確認されるのみ。

■**分布** 県内：若桜町，智頭町。 県外：北海道，本州，四国，九州。

■**保護上の留意点**：ブナ林帯溪谷の自然林の保護と採取防止。

■**特記事項**：国立・国定公園採取禁止指定種，鳥取県条例採取禁止指定種

■**文献**：—

執筆者：坂田成孝